

# 第5回 成育代謝異常症研究会

## サブテーマ フェニルケトン尿症(PKU)の最新治療

成育代謝異常症研究会もはや第5回を迎え、節目の回となりました。今回は、PKUの最新治療をテーマとしてプログラムを企画しました。PKUの治療法は50年前から食事制限を中心として確立しておりましたが、近年、PKUの中でテトラヒドロbiopterin(BH4)反応性高フェニルアラニン血症という新しい概念が提唱され、薬物療法によりその厳しい食事制限が緩和できることが解ってきました。今回、BH4反応性高フェニルアラニン血症を世界で最初に報告された東北大学 呉 繁夫先生と、PKUの豊富な臨床経験をお持ちの大阪市立大学 新宅 治夫先生に特別講演をお願いしております。多数の皆様のご参加をお待ちいたします。

成育代謝異常症研究会代表幹事

国立成育医療研究センター臨床検査部長 奥山 虎之

### Opening Remarks

遠藤 文夫 先生 熊本大学大学院医学薬学研究部小児科学分野 教授

17:35~18:25

### 特別講演 1

座長 高柳 正樹 先生 千葉県こども病院 医療局長

## PKU研究から生まれた基本概念 — 新生児スクリーニング、Phe制限食、BH4反応性

演者 呉 繁夫 先生 東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野 准教授

18:25~19:15

### 特別講演 2

座長 井田 博幸 先生 東京慈恵会医科大学小児科学講座 主任教授

## PKU治療の現状と今後の展望

演者 新宅 治夫 先生 大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学分野 教授

19:15~19:35

### 総合討論

座長 奥山 虎之 先生 国立成育医療研究センター臨床検査部長

## PKUの最新治療について

伊藤 道徳 先生、木田 和宏 先生、窪田 満 先生、田中 藤樹 先生  
中村 公俊 先生、長尾 雅悦 先生、古城 真秀子 先生、山本 重則 先生

平成23年

3.4

金  
FRI

参加費

1,000円

(レジデント・学生・無料)

17:30~19:35

国立成育医療研究センター 講堂

連絡先：東京都世田谷区大蔵2-10-1

Tel.03-3416-0181 事務局 木田 和宏

※会終了後、意見交換会を用意しております。

共催 成育代謝異常症研究会／第一三共株式会社